



防衛装備庁

Acquisition, Technology & Logistics Agency

研究職内定者の声
～これから受験する方へ～



はじめに

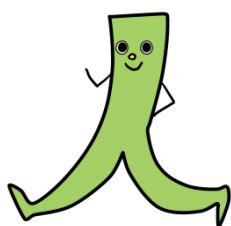
この度は、令和6年度版「防衛装備庁 研究職内定者の声」をご覧いただきありがとうございます。

本誌は、これから防衛装備庁への受験を検討する方に向けて、昨年度内定者の体験談をまとめ、作成されたものです。

緊迫する安全保障環境において防衛装備品の開発、生産、維持整備は極めて重要です。そのような中で私たちが何を思い防衛装備庁をめざしたのか。私たちが内定に至るまでの経緯をお伝えすることで皆様の就職活動の一助となれば幸いです。

本誌を通して、皆様の就職活動がより充実したものになることを内定者一同心よりお祈り申し上げます。

人事官付マスコットキャラクター

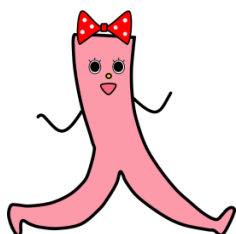


ジンジーくん

種類：何者でもない

特徴：みたまんま「人」を表している

イメージ：みたまま以外の特徴はない



ハイールちゃん

好きな食べ物：かまぼこ、みたらしだんご、ぬれせん

好きな飲み物：人事官付の冷蔵庫にある麦茶とルイボスティー

趣味：エステ

1,試験概要

2,試験対策

3,官庁訪問について

4,面接＆官庁訪問対策

5,内定者概要

6,内定者プロフィール

7,内定者の声

～ジンジーちゃんとハイールちゃんに聞こう！～

8,おまけ

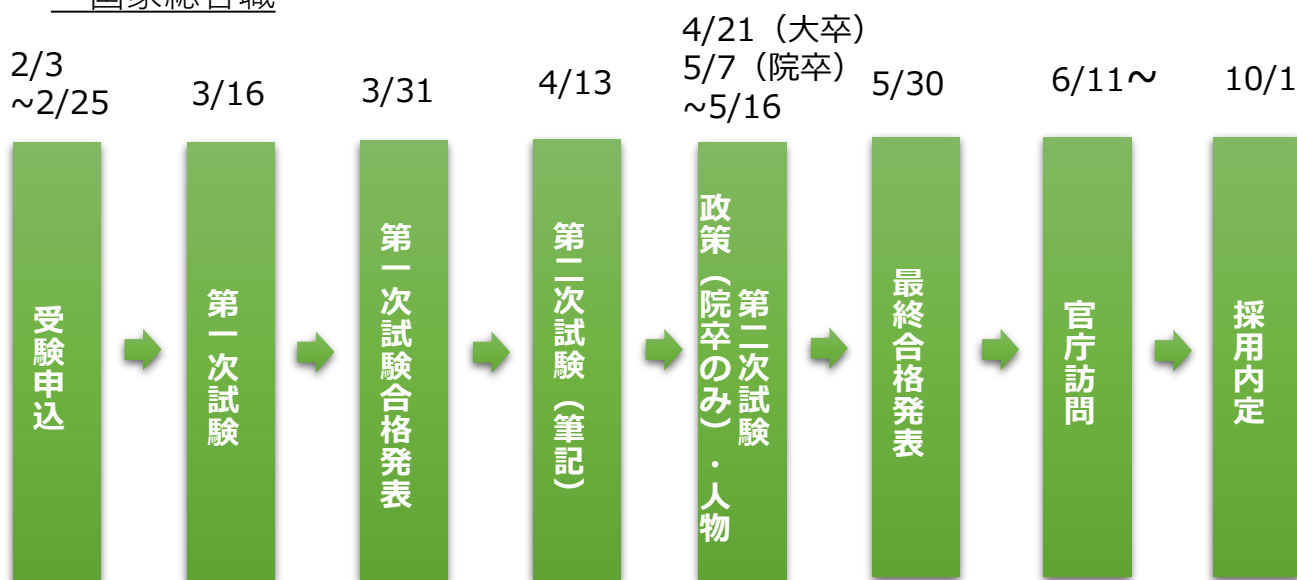
9,おわりに

1,試験概要

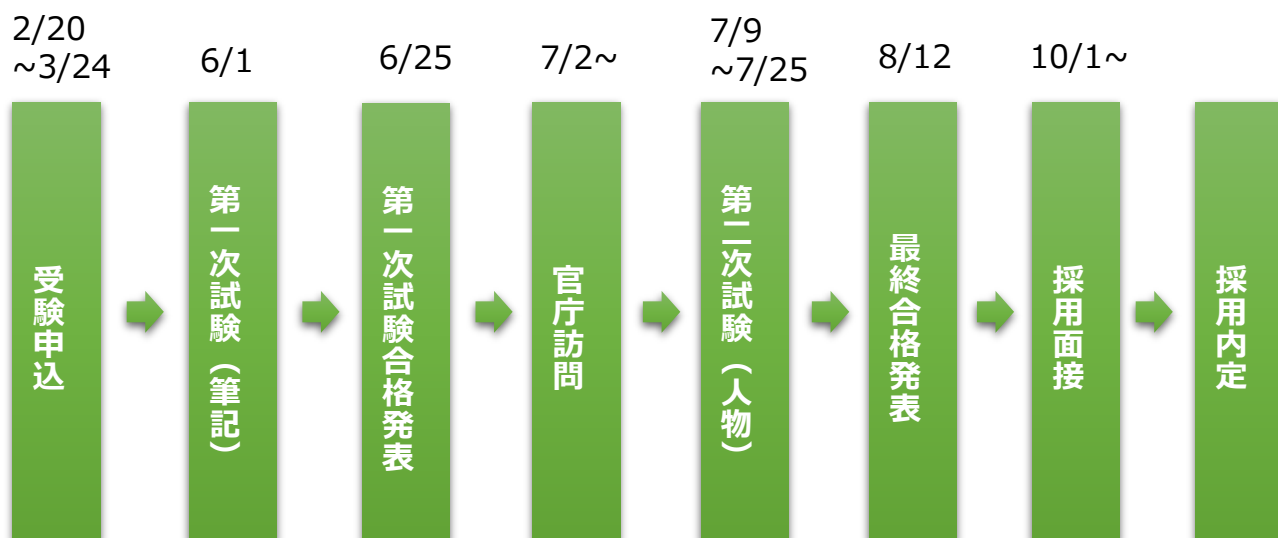
防衛装備庁の研究職として働くには「**国家総合職試験**」または「**国家一般職試験**」にまずは**合格**しなければなりません。
ここでは令和7年度の試験日程と、試験の概要についてご紹介します。

【令和7年度 試験日程】

・ 国家総合職



・ 国家一般職



※日程や実施内容については必ず人事院HPでご確認ください。

1,試験概要（令和7年度）

【国家総合職】

防衛装備庁総合職(研究職)は、国家公務員総合職試験(大卒程度または院卒者試験)で「工学」「化学・生物・薬学」「数理科学・物理・地球科学」「デジタル」「農業農村工学」**NEW!** のいずれかの試験区分から採用されます。

《総合職（院卒者・大卒程度）》

試験	試験種目	解答題数 解答時間	配点比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	30題 2時間20分	2/15	公務員として必要な基礎的な能力（知能及び知識）についての筆記試験
	専門試験 (多肢選択式)	40題 3時間30分	3/15	各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
第2次試験	専門試験 (記述式)	2題 3時間	5/15	
	【院卒者】 政策課題討議 試験	おおむね 1時間30分	2/15	課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験
	【大卒程度】 政策論文試験	1題 2時間	2/15	政策の企画立案に必要な能力その他総合的な判断力及び思考力についての筆記試験
	人物試験		3/15	人柄、対人的能力などについての個別面接

※試験種目や解答題数、解答時間等については必ず人事院HPでご確認ください。

1,試験概要（令和7年度）

【国家一般職】

防衛装備庁一般職(研究職)は、国家公務員一般職試験（大卒程度）「**デジタル・電気・電子**」「**機械**」「**物理**」「**化学**」のいずれかの試験区分、国家公務員一般職試験（高卒者試験）「**技術**」から採用されます。

《一般職（大卒程度）》

試験	試験種目	解答題数 解答時間	配点比 率	内容
第 1 次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	30題 1時間50分	2/9	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験 (多肢選択式)	40題 3時間	4/9	各試験の区分に応じて必要な専門的な知識などについての筆記試験
	専門試験 (記述式)	1題 1時間	1/9	各試験の区分に応じて必要な専門的な知識などについての筆記試験
第 2 次試験	人物試験		2/9	人柄、对人的能力などについての個別面接

※試験種目や解答題数、解答時間等については必ず人事院HPでご確認ください。

2,試験対策 筆記試験（多肢選択式）編

内定者の皆さんはどのように試験対策をしていたのか、内定者の声をお届けします！

多肢選択式試験は、市販の問題集を用いて対策しました。読解量と問題量が多く、一問当たりの制限時間が短いため解答のスピードを重視しました。

（総合職 デジタル 大卒）

専門試験の多肢選択式は参考書を一冊買って勉強しました。基礎能力試験はほとんど手をつけませんでした。圧倒的に専門試験の配転が大きいですし、読解や数的処理を短時間で伸ばすのは難しいです。B3の8月くらいから対策を始めました。

（総合職 工学 大卒）

教養科目はもとより得意だったため、専門科目のみ勉強しました。また、大学院入学試験の知識が残っているM1に受験したため、基礎知識は既に身につけている前提で演習に重点を置いて取り組みました。人事院に試験問題の開示請求を行い、入手できた10年分以上の過去問を解きました。

（総合職 工学 院卒）

教養試験は過去問をたくさん解いておけば、パターンがわかるようになります。専門試験に関しては大学の学期末試験レベルですので、大学の講義の復習を行えばよいと思います。

（総合職 デジタル 大卒）

多肢選択式試験は、参考書である程度解けるようにしてから過去問に取り組み、苦手分野の確認をしました。その後、苦手分野を重点的に勉強しながら時間内に全ての問題を解ききれるように練習しました。

（一般職 機械）

大学の三年次編入試験の勉強をしていたため、専門試験の勉強はせずに過去の問題から基礎能力試験の傾向を分析して対策をしました。

（一般職 機械）

2,試験対策 筆記試験（多肢選択式）編

多肢選択式試験は、重点を置く範囲を決めて参考書の過去問などで勉強しました。専門の勉強は、大学の講義資料や教科書を参考に復習しました。また、試験までの時間が少なかったため基礎で6割専門で5割取れることを目指して勉強時間の配分をしました。

（一般職 デジタル・電気・電子）

基本的には過去問演習を中心に傾向を把握、わからない問題があれば教科書の復習や参考書などで解法を勉強しました。一次試験は時間を計って1年分解いてみて合格最低点と制限時間に間に合うかを把握してから過去問演習を回しました。

（総合職 工学 院卒）

基礎能力試験は参考書で傾向と対策をしました。また、人事院に過去問の開示請求を行い本番と同じ時間で練習をしました。専門試験については、大学の定期試験や大学院入試とほぼ同レベルです。化学・薬学・生物に特化した参考書はないため、基礎能力試験と同じく過去問を取り寄せ傾向を掴み対策を行いました。

（総合職 化学・薬学・生物 院卒）

多肢選択式については人事院に公開されている過去問を使用して対策を行いました。全範囲を勉強することは時間的に難しかったため、解ける問題を見極め取りこぼさないように試験に挑みました。

（総合職 工学 院卒）

基礎能力試験はあまり時間をかけたくない分野なので、「二ヶ月完成！」と謳っている対策本で済ませました。数的処理は対策の有無でかかる時間が変わるので対策必須です。専門試験に関しても対策本が市販されているので、それで対策するのがよいと思います。

（総合職 工学 院卒）

多肢選択式は過去問を一通り解くことで問題に慣れました。本番はどうしても緊張や慎重過多になることで、問題を解くペースが練習より落ちると思います。試験本番でのペース配分を決めた後に、一問一問本番より短い時間で解く練習を行うと本番は精神的にも余裕を持てます。

（総合職 工学 既卒）

2,試験対策 筆記試験（多肢選択式）編

専門科目は、数年前の過去問の類題が頻繁に出題されるため過去問演習が非常に有効であると感じます。一次試験の3ヶ月程前に直近5年分の過去問を人事院に開示請求し入手しました。開示された過去問には解答の導出家庭が付いていないため、自分で参考書を基に模範解答を作成し、時間の許す限り繰り返し解いていました。

（総合職 工学 院卒）

多肢選択式試験は、人事院に公開されている過去問や参考書の過去問を解いて試験の傾向を把握しました。特に数的処理と文章理解に力を入れました。

（一般職 化学）

多肢選択式では、過去問を主に活用して試験対策を行いました。その中で試験の傾向を把握することを重視しました。その上で苦手な分野の自己分析を行い、教科書等も用いて対策を行いました。最後に、実際の試験時間を意識して問題を解く練習をしました。

（一般職 機械）

過去問を解くことで対策をしました。また、テクニックと呼べるものでもないかもしれませんが、多肢選択式は時間が足りなくなりやすいので、選択問題で計算問題の出ない技術論と環境工学を選択することにより時間を節約していました。

（総合職 工学 院卒）

2,試験対策 筆記試験（記述式）編

論述試験では自分の意見を述べる際に大まかな数値を概算し、数値とともに主張するように心がけました。日常的にタイピングが中心になっている方は、試験に向けて紙とペンで文章を書く練習をしておくことをお勧めします。

（総合職 デジタル 大卒）

専門記述は解く前に都庁や特別区の過去問題を解きました。ホームページに公開されています。国総の記述より簡単なので慣らすのによいと思います。

（総合職 工学 大卒）

記述試験は事前に数回練習することで、時間内に指定された文字数を書けるようにしました。特に、言葉遣いや考えをまとめることに重点を置いて対策しました。

（一般職 機械）

記述式は正答の発表はありませんが、重要な定理の証明や類題も多いため院試対策と同様の参考書を用いました。

（総合職 工学 院卒）

記述式では、導出過程が伝わるように解答することに慣れましょう。完答しなければ合格できない試験ではないので、取れそうな問題を取っていきましょう。政策論文は一度経験しておく書きやすいです。高校現代文の恩師を頼り対策しました。

（総合職 工学 院卒）

政策論文は、過去の出題テーマを論じる練習を数回しました。試験本番では、時間内に必ず完成させることを特に意識しました。

（総合職 工学 院卒）

専門記述試験では、併願先でも論文試験があったため何度か実際に書いてみて時間配分の確認などを行いました。

（一般職 機械）

記述試験は、文章構成のマイルールを事前に決めて試験に備えました。また、時事関連に日常的に目を通していましたが、これにより試験に対応しやすくなったと思います。

（一般職 機械）

機械力学など計算量が多い問題をあえて選択しないことで解答時間を節約しました。

（総合職 工学 院卒）

記述試験は年度により難易度が異なるので、余裕をもって4分野ほど過去問研究を行い、過去問を中心に対策しました。本番は字をきれいに書くように心がけました。

（総合職 工学 院卒）

官庁訪問とは？

官庁訪問とは、受験者が志望する省庁を訪問し、各省庁の職員から業務説明や面接などを受けるもので、志望する省庁に採用されるための重要なステップです。

志望する省庁に採用されるためには必ず官庁訪問へ参加し、志望省庁から内々定や内定を得る必要があります。

各省庁は受験者がその省庁に適している人材かを確認するため、受験者は志望する省庁で勤務することが自分にとって適切な選択となるか見極めるため、双方のマッチングとして官庁訪問は大きな意味を持ちます。

・ 申込方法(令和 6 年度)

官庁訪問には事前予約が必要になります。

令和 6 年度の官庁訪問申し込み方法は以下の通りでした。

【総合職】

予約はメールで受け付けています。

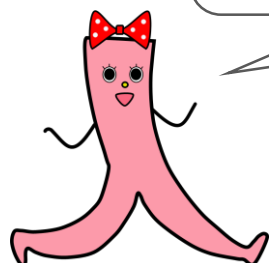
申込後、エントリーシートを作成しメールにて送付します。

【一般職】

申込フォームから申し込みます。

サイトからダウンロードした官庁訪問カードに必要事項を記入し、訪問の際に持参します。

官庁訪問の申し込み方法はHPでしっかりチェックしよう！

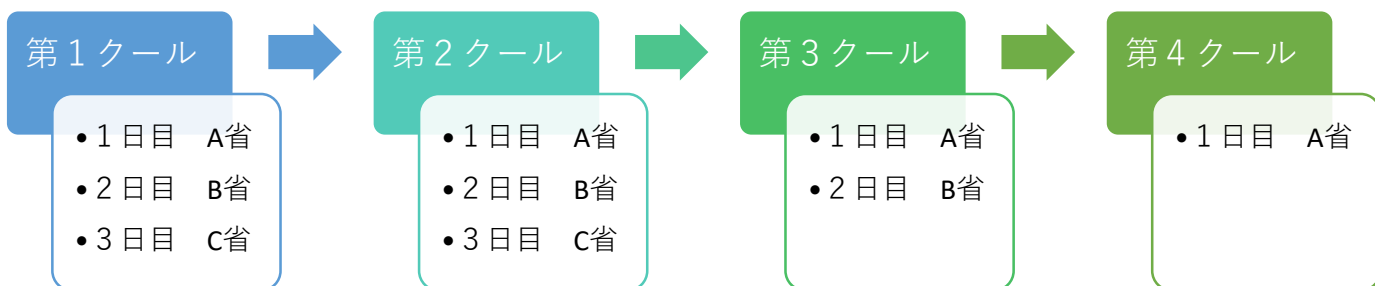


3,官庁訪問について

【国家総合職】

公務員試験最終合格発表後、予約受付開始。第1から第4回の各クールに志望の省庁に訪問し、1日の間に複数回面接に臨みます。第1・第2クールは第3志望まで、第3クールは第2志望まで1日ごとに訪問できます。

第4クールの17時以降に内々定が解禁され、全クールの面接を突破すれば内々定となります。



【国家一般職】

6月26日の一次試験合格発表と同時に官庁訪問の予約が始まり、その次の週から官庁訪問が開始されます。二次試験が行われている7月10日～7月28日は官庁訪問が禁止され、7月29日から官庁訪問が再開されます。防衛省本省、本省以外の各機関が一斉に実施され、志望先で面接を受けます。

二次試験合格後、採用面接を受け内々定となります。



※あくまで令和6年度のものであるため、来年度以降の実施要領については人事院のホームページでご確認ください。

3,官庁訪問について

官庁訪問当日、実際にどのような時程で過ごしていたのか総合職、一般職共にご紹介します！

【総合職】

起床 (7:00)



出発 (8:30)



県外の大学に通っていたため、官庁訪問期間中は防衛装備庁近辺のホテルに宿泊しました。
事前に指定された集合場所へ向かいます。

防衛省着 (8:45)



集合場所に着くとすでに到着していた受験者を見て緊張感が高まりました。

官庁訪問受付 (9:00)



職員の方が集合場所にお迎えに来てくださり案内に従って待合室に向かいます。
待合室に着くとその日のスケジュールが伝えられ、それに沿って進行します。

面接開始 (10:00)



待合室では面接カードや面接対策で使ったノートを読み直して準備をしました。
また、緊張をほぐすために他の受験者と話したり、面接に関する情報共有を行いました。
自分の名前が呼ばれたら会場に向かい面接スタートです。

面接 (3回ほど)



待合室での待機と面接を繰り返します。

面接終了 (16:00)



出口面接 (16:30)



出口面接でフィードバックと次のクールに進められるかを告げられて終了となります。

帰宅

3,官庁訪問について

【一般職】

起床 (5 : 30)

私は防衛装備庁が第一志望であったため、なるべく早い日に訪問したいと考え初日の午前に予約を入れました。
自宅から会場となる防衛省本省まで遠いので朝は早く起きました。

自宅出発 (6 : 30)

防衛省着 (8 : 20)

防衛省の正門に到着すると、職員の方がお迎えにきてくれます。
入門証を受け取り、職員の方の引率で会場へ向かいました。

官庁訪問受付 (8 : 30)

会場に着くと、希望の機関ごとに分かれてそれぞれのブースを訪問します。
装備庁のブースに着いた後は、自分の番が呼ばれるまで官庁訪問カードを読み直したり、職員の方とお話をしながら待機しました。
大きな講堂にすべての機関が出展するような形で、とても賑やかな会場でした。

面接開始 (9 : 45)

自分の番が呼ばれたら、いよいよ面接開始。パーテーションで仕切られた面接ブースに入り、約15分間の面接を行いました。あっという間でした…。

面接終了 (10 : 00)

面接終了後、会場入り口の総合受付にて終了を報告し帰宅しました。
一般職は複数機関の訪問が可能ですが、私は装備庁のみを訪問しました。
思っていたより早く終わったので、お昼ご飯を自宅の最寄り駅にあるスーパーで買って帰り、家で食べました。

帰宅

4,面接&官庁訪問対策

国家公務員になるために避けては通れない面接や官庁訪問。内定者の皆さんはどのように対策をしたのか聞いてみました！

官庁訪問では卒業論文に関する質問が予想されたため、自分とは異なるバックグラウンドを持つ面接官にも理解しやすいよう準備しました。専門用語の使用を控え、分かりやすい単語での説明を心がけました。また、面接では第一印象と声の大きさが重要だと考え、自信を持って堂々と臨むことに注力しました。

(総合職 デジタル 大卒)

既に企業内定を数件いただいていたのでESを何人かに見てもらう以外は特段の対策はしませんでした。(むしろ面接対策をする方が見破られると思っていました。) 企業と同様研究について専門外の人でもわかるように説明すること、志望動機、いわゆるガクチカやそれを通じたどのように組織に貢献できるか?などが問われました。

(総合職 工学 院卒)

基本的に事前に提出するESに沿って聞かれるため、まずESを仕上げるのが重要です。何人かに見せて添削してもらいました。また、官庁訪問を控える友達と一緒に面接練習をしました。官庁訪問では特別なことは聞かれませんが、行政に興味があると言うと政策についての考えを聞かれる可能性があります。

(総合職 工学 大卒)

人事面接では、自分らしさを出すことを意識しました。自分の気持ちや考えを中心に、私がどういう人間であるのかが伝わるように話しました。原課面接では、あらかじめ自分の興味ある分野を詳しく調べておくと話が盛り上がりやすいです。

(総合職 工学 院卒)

堅苦しい感じはなく、会話していて楽しい面接官が多いです。自身の考え方や物事への対処の仕方などを問うてくる傾向があります。いかに自己分析ができているかが大事だと思います。

(総合職 工学 院卒)

私は関西から官庁訪問に参加しました。数か月前からホテルを予約し、準備を整えました。地方から参加する人は慣れない環境で、午前から午後まで控室で待機し、面接を受けることとなります。そのため、休日や夜に自分なりのストレス発散方法を見つけておくの良いかもしれません。私は温泉やジムに行ってストレスを発散していました。

(総合職 工学 院卒)

4,面接&官庁訪問対策

人事院面接と同じく、大学のキャリアサポートで官庁訪問カードの添削や面接練習を行いました。人事院面接よりも研究内容を話す場面が増えるので、理路整然と伝えられるよう練習しておくといいかもしれません。自身の研究分野に明るい方が面接官だと、回答に熱が入りすぎて着地点を見失うことがあるので気を付けましょう。

(総合職 工学 院卒)

官庁訪問カードは、何に触れたいのか、自分のアピールポイントは何なのか、これらを格好つけることなく、素直に、かつ熱意を持って記入すると、官庁訪問での面接でスムーズな受け答えが出来ると思います。官庁訪問当日は、緊張していることを自覚していたので、『せっかくだから会話を楽しもう』と開き直っておりました。

(総合職 工学 既卒)

飾らず等身大の自分をアピールすることを意識しました。ありのままの自分で面接を受けてこそ、齟齬や淀み無くガクチ力や志望動機を伝えられると感じます。事前の自己分析から見つけたアピールすべきガクチ力や自己の長所を、面接で分かりやすく伝えたことが官庁訪問の成功に繋がったと思います。

(総合職 工学 院卒)

他の省庁や民間企業の面接を受けたことがなかったので、就活生の常識を知るため、地元の図書館で就活の本を3冊ほど読みました。また、先輩が官庁訪問中の体験談を書き記したノートがあったので、それを参考にしてどのような質問をされるのか、あらかじめシミュレーションしていました。

(総合職 工学 院卒)

官庁訪問カードでは、自分の強みを整理して伝わりやすい内容にすることを意識しました。面接時には、落ち着いた雰囲気意識して、相手の質問に的確に回答できるように努めました。また、緊張しすぎないように笑顔を心がけて、普段通りのスムーズな会話が面接の場でも問題なくできるように意識していました。

(一般職 機械)

官庁訪問に関しては、防衛装備庁が行っているインターンや防衛シンポジウムに参加して情報収集をしました。そこで自分の強みをどう生かせるか考え、強みとして面接に落とし込みました。面接中は変に取り繕わず素の自分で堂々として行こうと決心して官庁訪問に挑みました。面接官の方が和やかな雰囲気でしたので素の自分を出せたと思います。

(総合職 工学 院卒)

4,面接&官庁訪問対策

研究内容を深く質問されますので、しっかりと自分の研究の背景、目的、手段をいえるように整理しておくの良いと思います。

(総合職 デジタル 大卒)

官庁訪問の面接カードは自分のアピールポイントをいくつも書きました。他の官庁よりも面接は和やかだと思います。官庁訪問前には防衛装備庁の行っている研究を確認して自分がどんな研究に関わりたいかなどは明確にしていました。

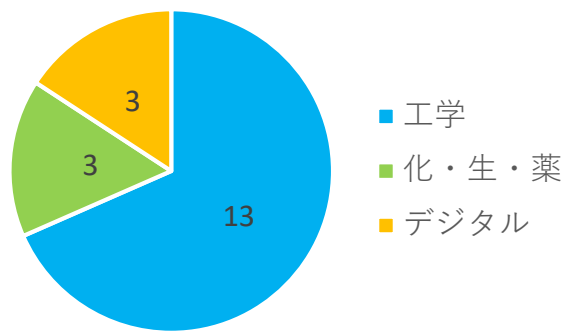
(一般職 化学)

5,内定者概要

令和6年度内定者の試験区分をご紹介します！

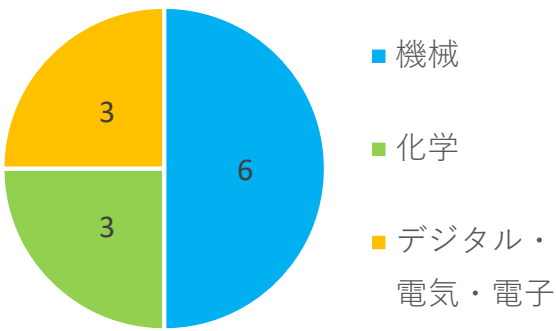
【国家総合職】

試験区分



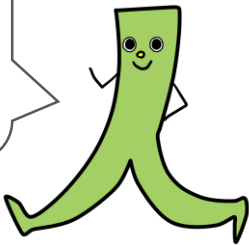
【国家一般職（大卒程度）】

試験区分



総合職、一般職共に
工学や機械系に限らず、**化学**や**デジタル系**からの内定者もいるよ！

情報・通信・サイバー関連、宇宙領域、電磁波領域、化学防護系など
装備品の研究開発には活躍できるフィールドがたくさんあるよ！



昨年度以前の各区分ごとの採用者数はこちらです↓

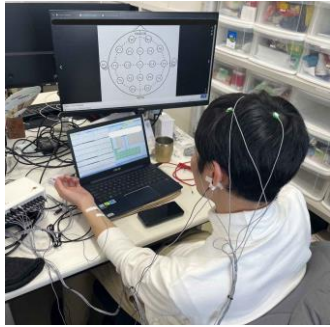
【国家総合職】

採用年度	国家公務員採用総合職試験（院卒者試験・大卒程度試験）			
	工学	化学・生物・薬学	数理学・物理・地球科学	デジタル
2019年（H31）	15（1）	1（0）	0	—
2020年（R2）	12（3）	4（1）	1（0）	—
2021年（R3）	13（0）	0	1（0）	—
2022年（R4）	15（1）	2（2）	0	—
2023年（R5）	10（0）	3（0）	1（0）	0
2024年（R6）	11（1）	3（0）	0	3（0）
2025年（R7）（見込み）	13（0）	3（1）	0	3（0）

【国家一般職】

採用年度	大卒程度試験				高卒程度試験
	デジタル・電気・電子	機械	物理	化学	技術
	研究職採用	研究職採用			
2019年（H31）	1（0）	4（1）	0	0	—
2020年（R2）	1（0）	4（0）	0	0	1（0）
2021年（R3）	1（0）	2（0）	0	0	—
2022年（R4）	2（0）	1（0）	0	0	1（0）
2023年（R5）	2（1）	5（0）	0	0	7（1）
2024年（R6）	1（0）	1（0）	1（0）	1（1）	1（0）
2025年（R7）（見込み）	3（0）	6（0）	0	3（0）	1

内定者プロフィール



プロフィール

【名前】 R.S 大学院卒

【学部学科】 理工学研究科
システム理工学部

【試験区分】 総合職工学

【趣味】 スキー、ダーツ、バー巡り

志望動機

装備品の研究開発を通じて隊員の負担軽減や生存性の向上に取り組みたいと考えて志望しました。防衛技術シンポジウムにて認知的負荷の計測・評価研究を目にし、自身の専攻と近いため興味を持ったことがきっかけでした。入庁後は、日本の安全保障の一翼を技術で担うという他にはない使命を胸に、職務に取り組んで行きたいです

採用後どんな仕事がしたいか

隊員の認知的負荷の可視化や生理情報取得、パワードスーツや防弾チョッキの開発等、隊員個人の負担軽減を目的とした研究に興味があります。装備品そのものの性能も重要ですが、隊員のパフォーマンス発揮をサポートできる装備品も重要だと感じています。

就活生へのアドバイス

説明会や研究所見学会、ワークショップに参加することをお勧めします。実際に職場を見たり職員と会話したりすることで将来像がはっきりとし、志望動機を文章化する際に役立つと思います。また、ニュース記事等を見ることで国際情勢や防衛産業の現状を知ることができ、モチベーションの向上に役立つと思います。応援しています。



プロフィール

【名前】 K.I 大学院卒

【学部学科】 工学系研究科
航空宇宙工学専攻

【試験区分】 総合職工学

【趣味】 ラグビー

志望動機

世界情勢のニュースを見たことをきっかけに安全保障について興味を持ちました。

これまで大学で身に付けてきた専門性を活かしつつ、日本の安全保障に貢献できる仕事として、防衛装備庁で働くことが一番だと考えました。防衛装備庁では開発と行政の両方に携わることができ、色々な経験ができることも魅力に感じました。

採用後どんな仕事がしたいか

専門である航空宇宙分野について、研究開発や防衛装備行政に携わりたいです。特に、ここ最近では最大のプロジェクトである GCAP（日英伊による次期戦闘機共同開発）に注目しています。

就活生へのアドバイス

積極的に、見学会やワークショップへ参加するのがおすすめです。現場を目の前にすることで、仕事のイメージを明確に持つことができます。また、同じ省庁を目指す仲間と出会えることにも大きな価値があります。

内定者プロフィール



プロフィール

【名前】 H.K 学部卒

【学部学科】 システム科学研究科
総合システム工学専攻
情報工学コース

【試験区分】 総合職デジタル

【趣味】 サッカー観戦

志望動機

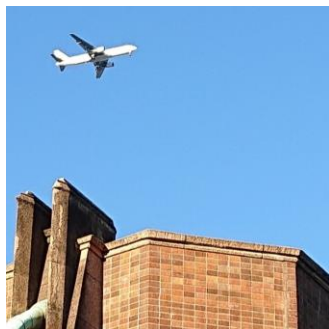
沖縄での戦争学習をきっかけに日頃当たり前と考えている日常生活の大切さを痛感し、国防に興味を持ちました。大学では情報工学を専攻し、その技術を活かして国の基盤となる安全保障に貢献したいと思い防衛装備庁を志望しました。平和な日本を次の世代に確実に引き継いでいくため、防衛装備庁で働く決意を固めました。

採用後どんな仕事がしたいか

新世代装備研究所のAIやセキュリティ分野に興味があります。大学での専攻分野と合致していることもあり、これまでの学びを活かしたいです。同時に、研究所以外の業務でも国や防衛装備庁に貢献できるよう積極的にチャレンジしていきます。

就活生へのアドバイス

ワークショップや研究所見学など、対面イベントへの積極的な参加をお勧めします。これらの機会を通じて、研究所への理解が深まり自分のイメージとの違いを把握することができます。また、実際の受験会場を訪れることで心理的な不安を軽減できると思います。ぜひ機会を逃さず、悔いが残らないように頑張ってください。



志望動機

工学系出身者が大半を占める装備庁に生物学という別の知見からの風を吹かせたいと考えたから。国家の安全保障と国民の安全を守るという重要な使命に貢献したいから。自衛官が働きたくなる、魅力的な装備品の開発に取り組みたいから。

採用後どんな仕事がしたいか

私の専門分野を活かすのであればCBRNですが、面接時に「入庁してから学んでいけばいい。どのようにでもなる。」との言葉をいただいたので、配属された先で実力を遺憾なく発揮しようと考えている。

就活生へのアドバイス

就活は情報が命と言われています。それはライバルを打ち負かすためではなく、自分自身のためです。より多くの判断材料を仕入れ、自分とマッチした省庁・企業を探してください。

プロフィール

【名前】 T.E 大学院卒

【学部学科】 新領域創成科学研究科
メディカル情報生命専攻

【試験区分】 総合職化学・生物・薬学

【趣味】 ゲーム、旅行、クロスステッチ、
ウィンタースポーツ

内定者プロフィール



プロフィール

【名前】C.T 学部卒

【学部学科】人間科学部
人間情報学科

【試験区分】総合職工学

【趣味】自宅の改修

志望動機

国防とものづくりに興味があったからです。防衛省が担う安全保障とメーカーが担う研究開発の両方に関わることができるのが魅力です。防衛装備庁は陸海空、宇宙電子サイバーなど多くの分野の要素研究を行っています。また、装備品に関する行政にも携わることができます。

採用後どんな仕事がしたいか

研究に興味があり、特に艦船や水中武器の研究をしてみたいです。特に自衛艦の設計は旧海軍時代から民間企業ではなく国が行っています。官側でも研究開発の主体となって仕事ができると思います。

就活生へのアドバイス

研究については勿論のこと、それ以外でも話せるネタをいくつか持っておくと面接の時に楽になると思います。研究職と雖も事務的な作業も含めた様々な業務があるので、研究以外もこなせることを示すと良いと思います。



志望動機

私は就職活動で、日本の防衛に貢献し国民に安心と安全を提供することを軸としておりました。民間企業でも防衛事業に関わる企業はありますが、営利に縛られず研究開発から技術戦略にまで関与できるのは防衛装備庁が唯一と言えるため、技術的観点から我が国の防衛への貢献度・重要度が高い機関であると考え、志望しました。

採用後どんな仕事がしたいか

艦艇に興味があります。とはいえ、まずは専門性を高めるために学ばせていただき、一刻も早く装備開発に関わる技術に精通したいです。最終的には技術的な優位を獲得できるような装備開発において主幹的な役割を果たしたいです。

就活生へのアドバイス

防衛に関わってみたいという方でも周りに知っている人が少なく、民間に比して内定をいただくまでに時間や労力がかかるため躊躇する人もいるかもしれません。しかしながら、技術を通じて我が国の防衛の中枢を担えるというほかにはない魅力があると思います。悔いが残らないよう最後まで頑張ってください。

プロフィール

【名前】A.H 大学院卒

【学部学科】理工学研究科
精密工学専攻

【試験区分】総合職工学

【趣味】古着
子ども支援系NPO運営

内定者プロフィール



プロフィール

【名前】 Y.T 大学院卒

【学部学科】 工学部
機械工学科

【試験区分】 総合職工学

【趣味】 筋トレ、食事

志望動機

ロシアによるウクライナ軍事侵攻のニュースを通じて、日本の安全が当たり前でないことを再認識し、安全保障に関わる仕事に携わりたいと思うようになりました。装備品の研究開発や装備行政を通じて自衛官を支え、我が国の平和と安全を守ることを生涯の仕事にしたいと思い防衛装備庁での勤務を志望しました。

採用後どんな仕事がしたいか

艦船設計に携わる仕事がしたいと考えています。授業内で試験装置の基本設計から製作、試験評価までを行い、図面から物を作り上げる楽しさを感じました。この経験を通じて、設計に関わる仕事に対する興味が深まりました。

就活生へのアドバイス

説明会に積極的に参加することをお勧めします。筆記試験を通過した後の官庁訪問が本番だと思いますので、説明会で防衛装備庁で何をしたいか、自分の強みをどのように活かせるかなどを考えておくと、面接カードの作成がしやすくなります。悔いが残らないように、最後まで頑張ってください。



志望動機

博物館や図鑑で見た、格好の良いもの、美しいものの開発、特に戦闘機開発に携わりたいという夢がありました。その上で、各企業の要素技術をまとめ上げる形で戦闘機開発の全体に携われ、更に研究にも触れられる防衛装備庁を志望いたしました。

採用後どんな仕事がしたいか

工学部に入ったきっかけとなった、航空機やミサイルと言った飛翔体の研究開発に携わりたいと考えております。自分の携わった装備品が実際に空を飛ぶ瞬間に立ち会う経験をしてみたいです。

就活生へのアドバイス

無邪気に『自分はこれが好きだ、興味があるんだ』と言えるもの、それに触れられる省庁や企業の説明会やインターンに、ぜひ積極的に参加してください。そして、それぞれの職場の業務内容等を理解した上で、楽しみながら志望動機をサラッと書けるトコ、そこが自分の志望や雰囲気にもっと合った職場だと思います。

プロフィール

【名前】 T.S 既卒

【学部学科】 工学部
機械系

【試験区分】 総合職工学

【趣味】 水泳、一人旅

内定者プロフィール



プロフィール

【名前】 S.Y 大学院卒

【学部学科】 システムデザイン学科
航空宇宙システム工学

【試験区分】 総合職工学

【趣味】 筋トレ、食事

志望動機

昨今のウクライナや中東の情勢から、私が当たり前に享受してきた平穏な日常が実は得がたいものであり、国の安全保障により保たれていることを認識しました。産業界や諸外国と積極的に協働し、防衛装備品の研究開発に貢献することで国民の安全な生活を守りたいと考え防衛装備庁を志望しました。

採用後どんな仕事がしたいか

大学では航空宇宙工学を専攻したことから、誘導弾、航空機、航空エンジン、宇宙の防衛利用のいずれかの研究開発に携わり、いずれはプロジェクトの取り纏めにも参画したいと考えています。

就活生へのアドバイス

積極的な説明会/研究所見学会への参加をお勧めします。多岐にわたる防衛装備庁研究職の職務内容の理解には、説明会/研究所見学会が大いに役立ちます。説明会で自分が特に惹かれる分野を見つけ、研究所見学会で関心を持った分野の職務への理解を更に深めると、官庁訪問でも説得力をもって防衛装備庁で成したいことを語れると思います。



プロフィール

【名前】 H.K 大学院卒

【学部学科】 工学研究科
地球総合工学専攻

【試験区分】 総合職工学

【趣味】 旅行

志望動機

私は、現在自律運航船に関する研究を進めており、この知識と技術を活かせる職場で働きたいと考えていました。また、近年ますます複雑化する国際情勢の中で、日本の安全保障に貢献できる仕事に対しても、関心があったことに加えて、自衛官であった祖父の影響もあり、防衛装備庁を志望いたしました。

採用後どんな仕事がしたいか

まずは、研究所で装備品に対する知識を深めながら、研究を行いたいと思っています。特に、大学では自律運航船の研究を行っていたので、USVやUUVの研究がしたいと考えています。

就活生へのアドバイス

説明会に参加する、可能であれば先輩から話を聞くなどして、自分のやりたい仕事と防衛装備庁の業務内容がマッチしているか知ることが大切だと思いました。また、日頃から自分の研究内容を分かりやすく人に伝えることができるかを意識していると良いかと思います。

内定者プロフィール



プロフィール

【名前】 M.K 大学院卒

【学部学科】 情報工学科
情報数理専攻

【試験区分】 総合職デジタル

【趣味】 機械をいじること

志望動機

自身の興味のある分野のソフトウェアは実質的に軍需産業以外の需要がないため。また、必要な基礎研究（現代的にはPOCに近いのかもしれないが）から社会実装までひと続きで携わることが出来る可能性のある組織だから。

採用後どんな仕事がしたいか

究極的にはガンダムを作ろうかなと考えています。そのためには状況把握を分散かつ線形整合性の取れた形で実現する必要があります。つまり概ねゲームのマップ機能のようなものを実装したいです。最初の足がかりは防衛省の勤怠システムだと思っています。

就活生へのアドバイス

具体的な試験対策以外にも手段を変えて対策ができる部分があるのが就活だと思います。例えば総合職であれば院進することによって圧倒的に倍率が低くなる傾向にあります。また自身のしたいこと、作りたいものへの近道や道筋などを決める機会だと思いますので自分自身と今一度向き合う機会だと思って気軽に生きてください。



志望動機

現在、日本を取り巻く安全保障状況は戦後最悪と呼ばれています。実際、ロシアのウクライナ侵略や、北朝鮮の対韓国に対する方針転換など様々なことが発生していて、世界の治安は悪化の一途をたどっています。その中で、私は、国民の当たり前の日常を守りたいと強く思い、防衛装備庁を志望しました。

採用後どんな仕事がしたいか

研究者としては艦船設計官として、護衛艦や潜水艦の設計を行いたいです。
行政官としては、同盟関係を強固にするために同盟国との装備外交政策を行いたいです。

就活生へのアドバイス

防衛装備庁では、おそらく皆様が思っているよりも幅広い業務に携わることができます。
ぜひ、防衛装備庁の説明会などに足を運んでいただいて、興味を持っていただけたらうれしいです。

プロフィール

【名前】 S.K 学部卒

【学部学科】 基幹理工学部
情報通信学科

【試験区分】 総合職デジタル

【趣味】 弓道、野球観戦

内定者プロフィール



プロフィール

【名前】 R.S 大学院卒

【学部学科】 理工学研究科
航空宇宙学専攻

【試験区分】 総合職工学

【趣味】 スキー、剣道、ピアノ

志望動機

私は「日本を守る」という思いから防衛装備庁を志望しました。
「日本を守る」という思いは私が剣道を経験したことによります。
私は鍛錬するうちに弱気だった自分に自信が持てるようになりました。
この経験より私は日本の文化に興味を持ち、日本を守りたい、
日本の人々のためになりたいと思いました。この気持ちを忘れず
尽力していきたいです。

採用後どんな仕事がしたいか

ジェットエンジンの研究に興味があり、採用後はジェットエンジ
ンの燃焼の研究をしたいと考えております。また、次期戦闘機に
も興味があり開発に携わりたい、あわよくばエンジン関係の仕事
をしたいと考えております。

就活生へのアドバイス

試験については、一人で取り組むと非常に大変ですので、同じ国
家公務員を志す仲間を見つけて一緒に勉強するのがお勧めです。
また、官庁訪問対策としては行きたい省庁の説明会などに必ず参
加したほうが良いです。そこで雰囲気や業務が自分に合うか判断
できます。とにかくやりきることが大事だと思います。粘り強く
頑張ってください。

志望動機

最先端技術に触れやすいと考えたから。

採用後どんな仕事がしたいか

研究はもちろんの事プロジェクトの管理等他ではできないような
ことをやってみたい。

就活生へのアドバイス

一番頑張るのは官庁訪問だが、所詮相手も人間なので話が通れ
ばなんとかなる。むしろ訪問終わったら何しようかなあとか考
えながら気楽にやった方が期間中持つのでいいと思う。

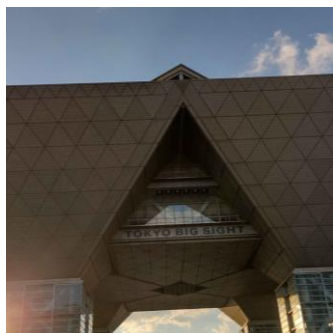
プロフィール

【名前】 S.I 大学院卒

【学部学科】 工学研究科

【試験区分】 総合職工学

【趣味】 ゲーム、読書



内定者プロフィール



プロフィール

【名前】 T.E 学部卒

【学部学科】 薬学部薬学科

【試験区分】 一般職化学

【趣味】 スノーボード

志望動機

昨今は国際情勢も不安定となっており、我が国の安全を保つことが容易でない状況になっていると考えます。私は、大学で学んだ化学や生物、薬学の知識を多くの人の為に役立てたいと考えていました。防衛装備庁でなら私が大学で学んだ知識が国家、国民の安全の為に役立てることが出来、多くの人の幸せな生活を守る業務に関われると思い志望しました。

採用後どんな仕事がしたいか

CBRN対処の研究に興味があります。防衛装備庁を目指すきっかけでもあり、私は大学で薬毒物の研究を行っていたため、大学での知識を活かせると考えています。

就活生へのアドバイス

試験の勉強も大切ですが、早いうちに説明会に参加しておくことも重要だと思います。特に地方在住だとチャンスが少ないため積極的に参加して、どうして防衛装備庁なのかを明確にしとくと、官庁訪問の時に新たに対策をする時間を減らせると思います。



プロフィール

【名前】 Y.K 学部卒

【学部学科】 工学部
情報工学科

【試験区分】 一般職
デジタル・電気・電子

【趣味】 サイクリング

志望動機

小学生の時から、日本を守る艦船や航空機に興味を持っていました。大学の先生との面談で技官について知り、自分の学んできた知識を防衛装備品の開発で貢献できればと思い、防衛装備庁を志望しました。初心を忘れずに、貢献できるよう頑張りたいです。

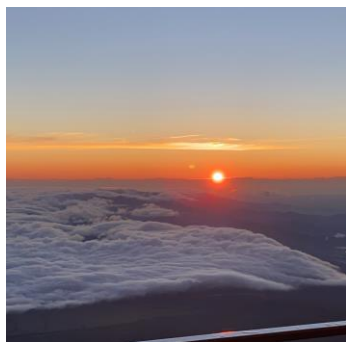
採用後どんな仕事がしたいか

装備品に活用される最先端技術の研究に興味があります。特に、AI技術を用いた装備品の開発に興味があるため、新世代装備研究所、もしくは、航空装備研究所で働きたいと思っています。

就活生へのアドバイス

説明会に参加することや、防衛品について知っておくといいと思います。防衛装備庁を志望する理由、どんな仕事に携わりたいかなど深掘しておくすとスムーズに伝えられると思います。試験が終わる最後まで、諦めずに頑張ってください。

内定者プロフィール



プロフィール

【名前】 S.K 学部卒

【学部学科】 理学部 物理学科

【試験区分】 一般職機械

【趣味】 登山

志望動機

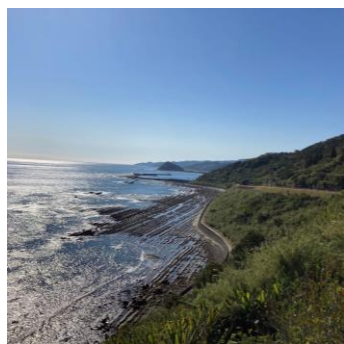
空自機による一年間の緊急発進の回数を知ったときに非常に多いことに衝撃を感じ、防衛に興味を持ちました。大学で学んだ知識を活かしたいと思い、装備品に関する仕事を直接的に行える防衛装備庁を志望しました。

採用後どんな仕事がしたいか

航空機の研究に関わりたいと思っています。もともと航空機に興味があったことから航空装備研究所で働きたいと思っています。

就活生へのアドバイス

説明会に積極的に参加して、疑問点を全て解消できるようにすると良いと思います。自分の志望動機にも活かれますし、面接でも自信を持って答えることができます。内々定をいただけるまで長いと思いますが、頑張ってください。



プロフィール

【名前】 K.S 学部卒

【学部学科】 工学部 機械科

【試験区分】 一般職機械

【趣味】 旅行

志望動機

ニュースや報道で日本の防衛に関心を持ち、これに携わる職務に興味を抱きました。大学では機械系を専攻していたこともあり、技術面から日本の防衛に貢献したいと思い、防衛装備庁を希望しました。職務を通じて日本の安全を守るように、力を尽くしていきたいです。

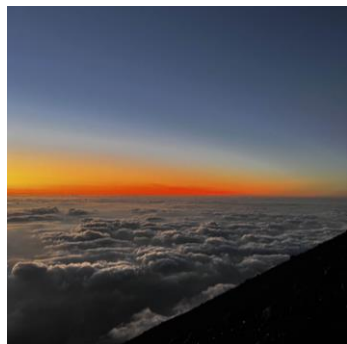
採用後どんな仕事がしたいか

艦艇の研究に興味があります。海に囲まれた日本にとって艦艇は重要な装備品でもあり、省力化や無人化などの最先端の技術が詰まっています。そのため、これらの研究を行っている艦艇装備研究所で働きたいと思っています。

就活生へのアドバイス

自己分析を丁寧に行うことが重要だと考えています。面接時に自分のことについて、相手にわかりやすく伝えることが必要だからです。また、説明会に参加することがおすすめです。説明会などで業務内容を理解すればするほど、自分の熱意も伝えやすくなり、効果的だと思います。

内定者プロフィール



プロフィール

【名前】Y.O 高専卒

【学部学科】機械工学科

【試験区分】一般職機械

【趣味】スノーボード
音楽を聴くこと

志望動機

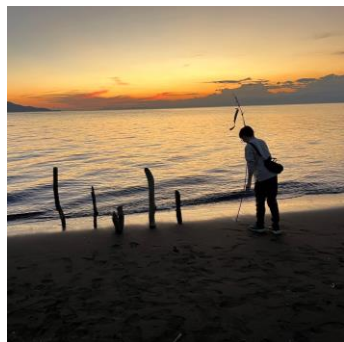
高専本科学卒でも大学学部卒と同じように扱っていただけることと最先端の技術がつまった装備品の研究開発に携われるということで志望しました。大学に進学する選択肢もあったのですが、研修制度で大学院に通うことができると知り防衛装備庁を選びました。

採用後どんな仕事がしたいか

戦闘機やレールガンといった新しい装備品の開発に携わりたいと考えています。まだまだ未熟ですがより早く一人前になり、プロジェクトを率いていけるような存在になりたいです。

就活生へのアドバイス

特にはないですが高専生にひとこと防衛装備庁に興味がありこれを見ている高専生がいたら、ぜひ進路の選択肢に入れてもらいたいです。



志望動機

子供のころから理系へのあこがれはあったが、大学受験の際に紆余曲折あり、文系に進むことになった。就職活動のなかで装備庁の仕事を知り、昔抱いていた憧れを仕事にしたいと思い、技術系区分を受験し、研究職を目指した。

採用後どんな仕事がしたいか

防衛イノベーション科学技術研究所に興味がある。「様々な可能性を有する科学技術の探索、従来の常識を覆すブレークスルーへの挑戦、科学技術の迅速な活用まで、防衛イノベーションにつながる取り組みを実施します。」、かつこよすぎる。

就活生へのアドバイス

ありきたりなことですが、自分が何をしたいのか、自分の能力はどう生かせるのか、それを過不足なく相手に伝えるにはどう表現すればいいのか、といったことをしっかり準備しておくことが大事だと思います。特に、相手に伝える部分については自分の中だけで完結するものではないので、家族や友人、先輩やキャリアセンター、ハローワークなど頼れるところを頼って、事前に試行錯誤を重ねておいた方が良いでしょう

プロフィール

【名前】K.Y 学部卒

【学部学科】法学部 法律学科

【試験区分】一般職
デジタル・電気・電子

【趣味】テニス、登山、漫画、ドラム

< ジンジーくんとハイルちゃんに聞こう！

Q,防衛装備庁にどんな印象をもっていますか？



厳格な雰囲気を想像していましたが、非常に温かい雰囲気を感じることが出来ました。



役所という畏まったイメージがありましたが、それに反して明るい方が多いです。



自衛隊というイメージからとても厳しい環境だと思ってましたが、説明会の時にすごく親身になって話を聞いていただき、丁寧に説明していただけたので和やかな雰囲気だと思いました。

堅い印象を持っている人が多いのかな？
装備庁は明るい職員が多くて、賑やかな職場だよ！



職員同士の仲が良く、楽しそうに業務内容を話してくださる姿を見て、防衛装備庁で働きたいという思いが強くなりました。



初めは、公務員かつ研究室とういことで堅苦しいイメージがありました。しかし説明会や官庁訪問では、どの職員の方もフレンドリーで学生の話を真摯に聞いて下さったため、働きやすそうな職場だと思いました。

やっぱりギャップを感じている人が多いみたいだね！
装備庁は明るく穏やかな職場だよ！



< ジンジーくんとハイルちゃんに聞こう！

Q,防衛装備庁にどんな印象をもっていますか？



新しい装備品・技術を研究開発している最先端の機関というのが第1印象です。研修制度や福利厚生も充実していて働きやすい環境も整っているのではないかと思います。



ユーモアに溢れていて馴染みやすい職員が多い印象。同じ職場に多種多様の職種（事務官、技官、自衛官）がいて、新鮮で刺激的だと思う。国の技術の集大成と言われる防衛装備品を目の当たりにできるやりがいのある仕事だと思う。

装備庁では常に最先端の技術に触れられて、やりがいのある仕事ができるよ！



インターンシップに参加したときに、研究所資料室にて引退した職員の方が熱く語っていただき、我が国の防衛のための技術のプロフェッショナルであるとの印象を受けました。



今までお会いした防衛装備庁の方々は、それぞれの専門分野に対して熱心にお話をしてくださっていたのでどの研究所へ行っても、その研究所に対して興味深く研究が出来るだろうと感じています。

装備庁の職員はみんな情熱をもって働いているよ！



< ジンジーくんとハイルちゃんに聞こう！

Q,受験のとき、悩みや不安だったことはありますか？



民間と併願していたことや、専門分野の勉強が1ヶ月半しかとれなかったため、1次試験で点数がとれるか不安でした。もっと早めに勉強時間の確保が出来れば良かったと思います。



周りに公務員試験を受ける人がいないことで相談相手がおらず、薬学部5年次の実習が忙しく勉強時間があまり確保できなかったのが不安を感じてました。もっと早期から対策を始めるべきだったと感じています。

試験対策は早めに始めよう！
しっかり対策することで自信を持って試験に臨めるね！



学会発表が近くに迫っており実験が上手くいってなかったのがその影響が官庁訪問に出してしまうのではないかと不安でした。また、国家公務員は内定時期が遅く自分だけ就職先が決まっていない不安がありました。



公務員は内々定をもらえる時期が遅いため、民間就職をどうするか悩みました。結果として中途半端に民間就活も行いましたが、その過程で自分が本当にしたい仕事は何なのか気づくことができました。

公務員は結果がわかるまで時間がかかるよね…。不安になる気持ち、よくわかるよ。



< ジンジーくんとハイルちゃんに聞こう！

Q,受験のとき、悩みや不安だったことはありますか？



受験時の主な悩みは、準備開始が遅れたことでした。特に面接練習が不十分で、頭で考えたことを適切に表現する練習ができなかったことが不安でした。



面接で緊張のあまり、落ち着いて話せなくなることが不安でした。緊張してしまったときに、緊張をほぐし普段通りに話せる練習をしておけばよかったです。

筆記試験対策だけではなく、面接の対策も大切だね！

大学の就職支援をうまく使ったり、友人や家族など身近な人に面接の練習をお願いするのもいいかもしれないね。



行政等の文系専門科目の情報は書籍・インターネット共に充実しているが、理系（特に化生薬）は情報が少ない。また、院卒区分特有の政策課題討議の情報も少なく、本番まで正直何をするのかわからなかった。

たしかに技術系公務員に関する情報は少ないよね…。
このパンフレットで悩みが疑問が解消されたらいいな。



< ジンジーくんとハイルちゃんに聞こう！

Q,悩みや不安だったことはありますか？



評価基準が一切不明であること。
また、朝起きることができるか不安だった。

官庁訪問についての評価は、主に人物重視で見ているよ。どんな思いで装備庁を志望するのか、どんなことがしたいのか等自分の思いをしっかりと伝えることができればきっと大丈夫！



初めの頃は、業務内容や働き方が不明なことがいくつかあったので、不安に感じていました。しかし、業務説明会や官庁訪問に参加し、情報収集を積極的に行うことで、不安を解消することが出来ました。



文系卒でも研究職になれるのかずっと悩んでいた。官庁訪問の際に、技術系区分に受かっていれば研究職になれる旨を聞き、研究職の採用面接を受けることを決めた。不安に思うことは事前に聞いておくべき。

はじめての方に向けた説明会やテーマ別の説明会、みなさんからの質問にお答えする質問受付会、研究所見学会など、たくさんのイベントを実施しているのでぜひ参加してね。HPやメーリングリストで告知してるから要チェック！



おわりに

最後までお読みいただきありがとうございました。

防衛装備庁についての理解は深まったでしょうか。本誌を通して防衛装備庁に興味を持たれたという方は、ぜひ説明会や見学会にお越しください。

就職活動はつらく苦しい思いをすることも多いと思いますが、きっと皆様にとってかけがえのない経験になると思います。後悔の残らないよう精一杯頑張ってください。

防衛装備庁の研究職を目指す皆様と共に働ける日を楽しみにしております！

最後になりますが、本誌の作成にあたり数多くの方々からご支援、ご協力を賜りました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

防衛装備庁 令和6年度内定者体験談パンフレット編集担当一同

住まいについて

・官舎ってどこにあるの？



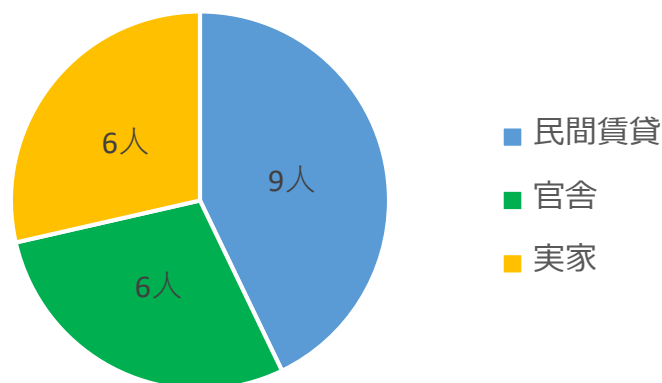
防衛装備庁の官舎は研究所のある地域と同じ「立川」「目黒」「相模原」にあります。官舎はとにかく家賃が安いのがメリット！遠方から来られる方は活用しよう！

・1年目職員（令和5年度内定者）に聞いてみた！

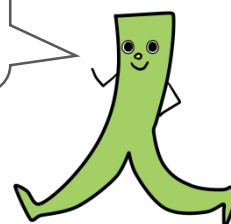
Q,どこから職場に通っていますか？官舎、民間賃貸、実家？

1年目職員（令和5年度内定者）に聞いてみました！

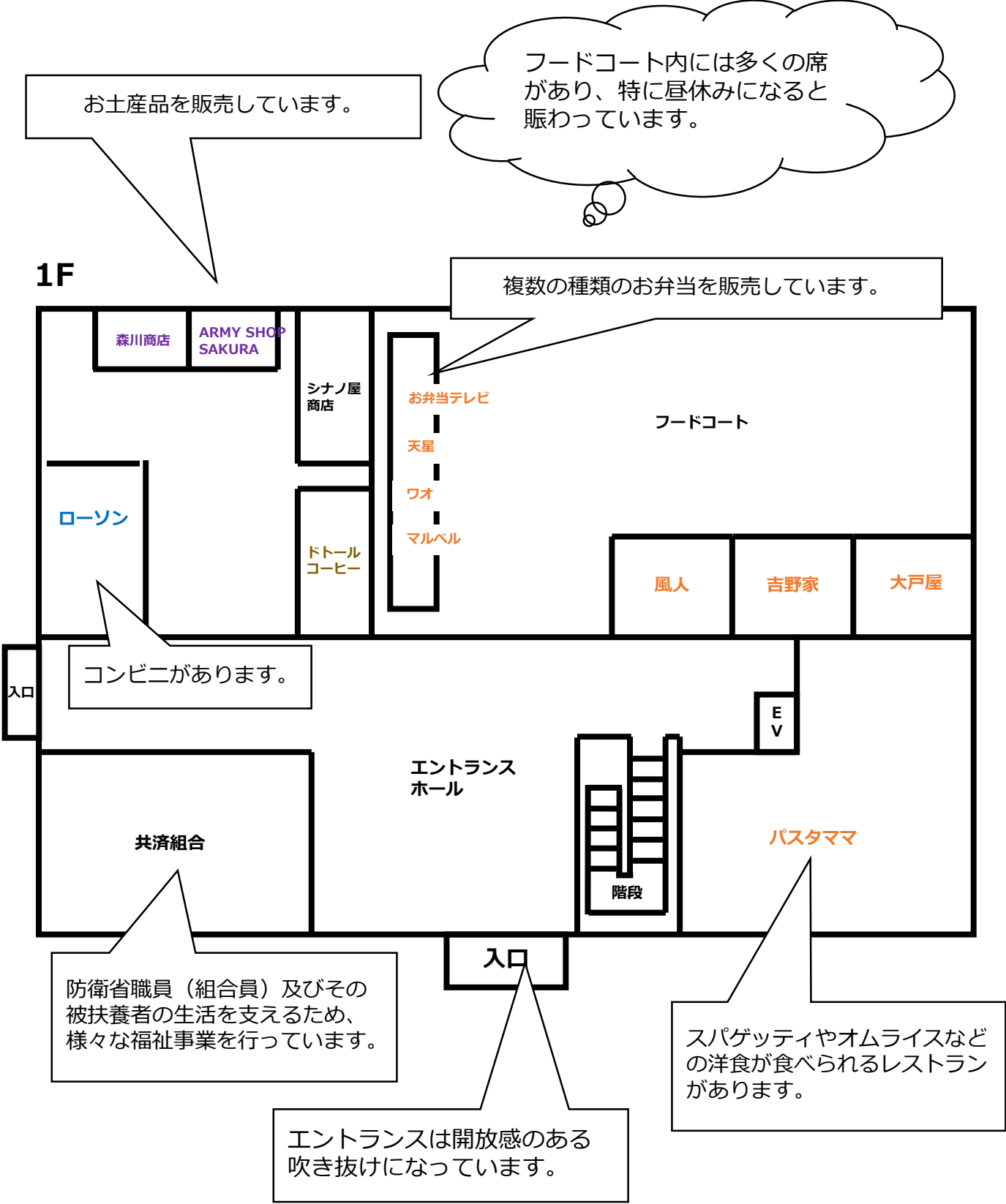
1年目職員の住まい



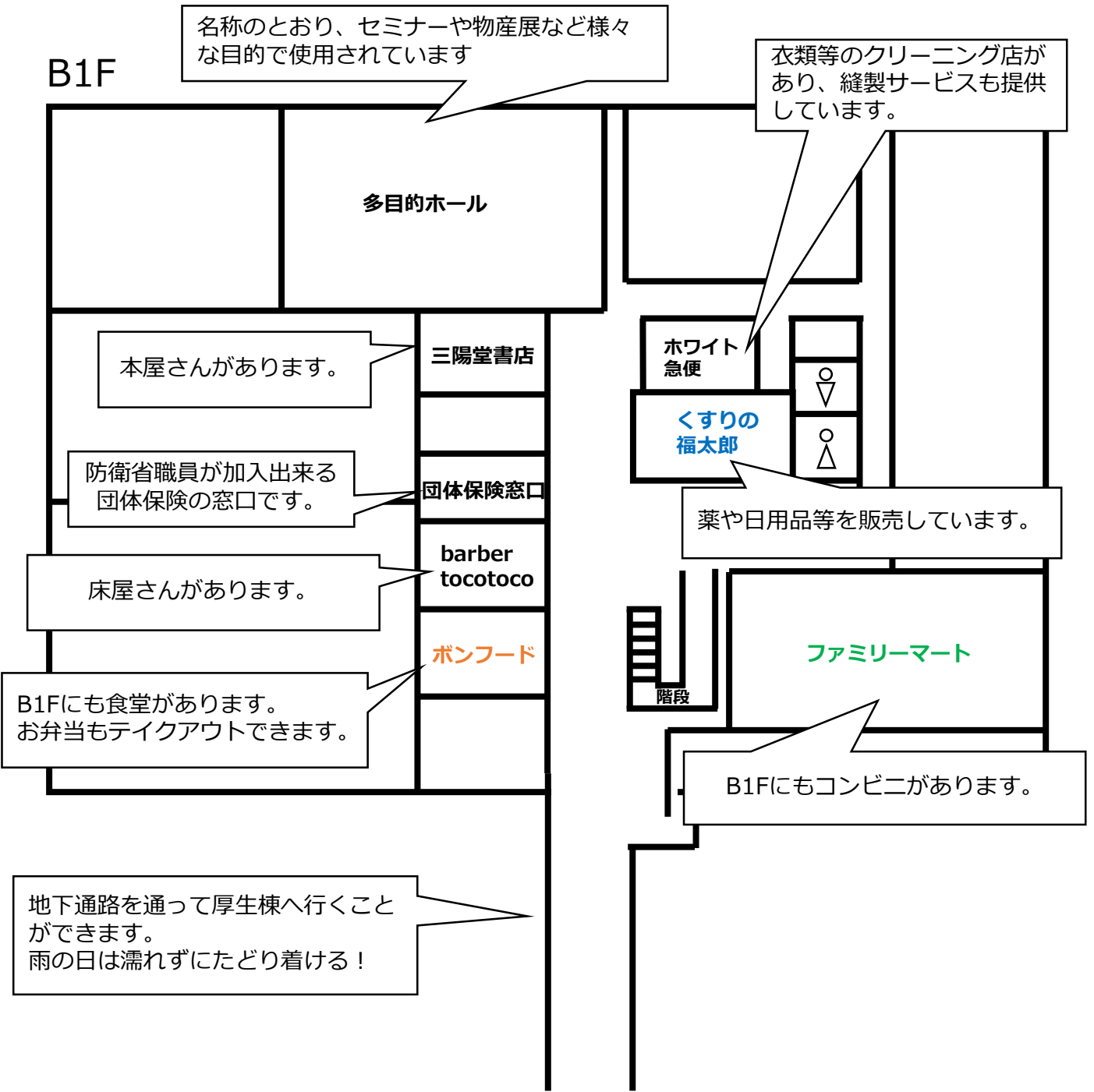
民間の住居を借りている人が9人と一番多いみたい！
官舎と実家から通っている人も6人で、人数は同じくらいだね！



日々の省内での生活で使う厚生棟をご紹介します！（令7．4～）
まずは一階から。

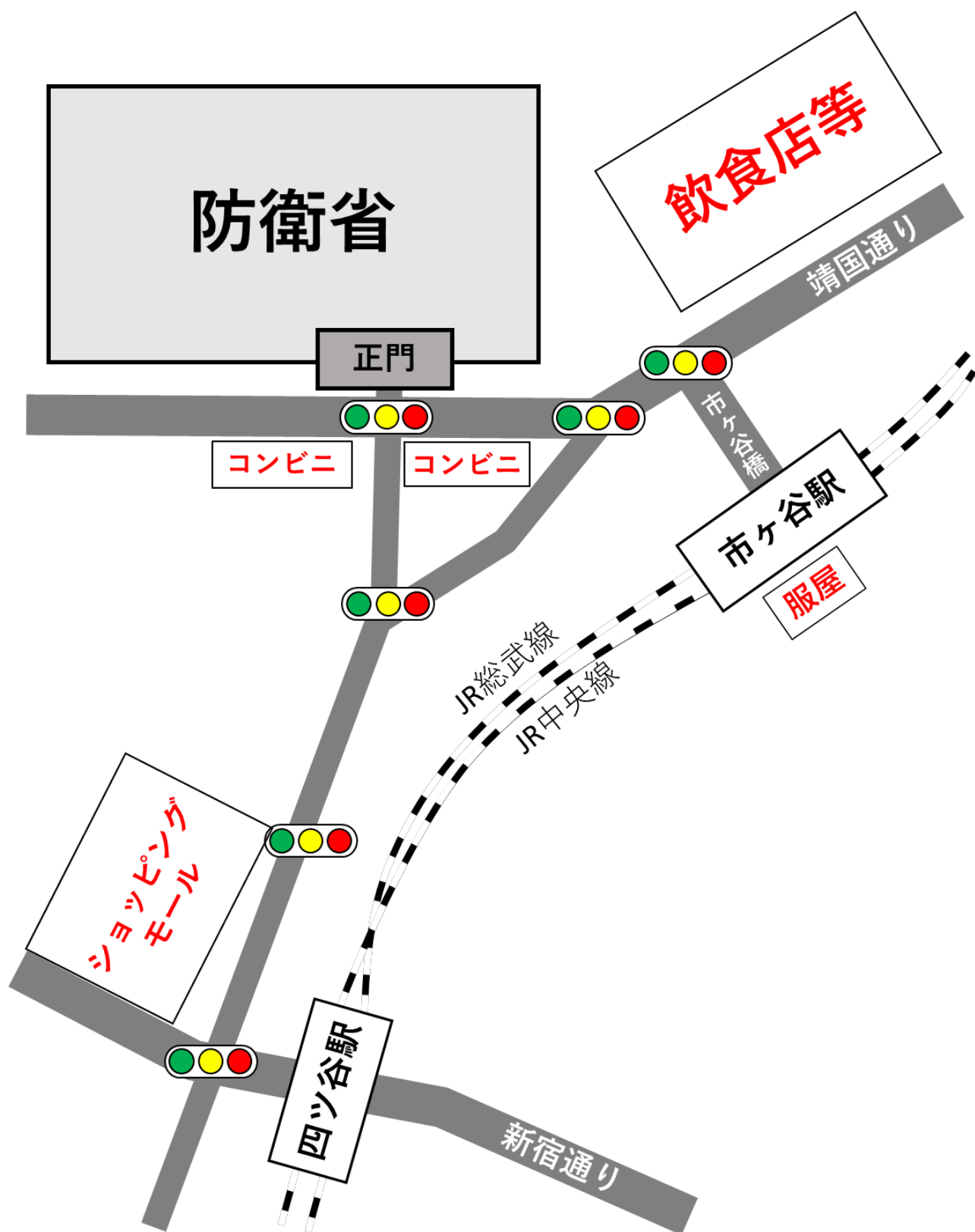


続いて地下一階です。



防衛省周辺MAP

防衛省本省の最寄り駅は「四ツ谷駅」と「市ヶ谷駅」です。
どちらからも徒歩で約10分ほどかかります。
周辺にコンビニや飲食店も多くあるので便利♪
四ツ谷駅と市ヶ谷駅周辺には居酒屋も多数あります。





ATLA

Acquisition, Technology &
Logistics Agency